

性同一性障害：受刑者への「ホルモン治療不要」通達に批判

2012年3月31日 15時0分 更新:4月1日 9時21分

刑務所や拘置所内の性同一性障害の収容者について、法務省がホルモン治療は必要ないとする処遇指針をまとめ、全国の施設に通知していたことが分かった。性同一性障害の受刑者への医療措置や居室、入浴、身体検査、寸髪、カウンセリングなどの標準的な対応を記している。

処遇指針は昨年6月1日付で、同省矯正局成人矯正課長と矯正医療管理官の通知とされた。性同一性障害の受刑者への医療措置や居室、入浴、身体検査、寸髪、カウンセリングなどの標準的な対応を記している。

このうち医療措置では、収容施設で性同一性障害を診断するのは「対応困難で、ホルモン療法についても「極めて専門的な領域に属する」「実施しなくても収容者に回復困難な損害が生じるものと考えられない」と、医療措置の範囲外だと

性同一性障害学会理事長の中塚幹也・岡山大学教授(産婦人科学)は「治療を性ホルモン欠落状態になる。1週間ほどで更年期症状が表れ、数カ月でかたまりしょう症になる」と指摘。また「女性の体であることを強く自覚させる月経が嫌で、

当事者団体の「日本性同一性障害と共に生きる人々の会」は「女性の心を持つ性収容者の中で処遇するなど、指針は他にも問題点が多い」と(山本蘭代表)とし、要望書を近く、法務省に提出する予定。

同省矯正局は「健康上の問題が起きたという報告はなく、仮にあれば個別に治療は行う。ただ、原則として認めてしまうと『胸を大きくしたいから女性ホルモン』というわがままのような要求まで通ることになる」と話す。

同省によると、昨年末現在で医師から性同一性障害と診断されたり、同様の被害に遭ったりする収容者は全国に約40人。収容施設は、心の性別ではなく戸籍の性別

性同一性障害は身体的な性別と心的な性別が一致せず、強い違和感や苦痛を伴う。精神的な治療だけでは苦痛の改善は困難とされ、多くの当事者が男性ホルモンの投与を受けている。04年に特例法が施行され、戸籍の性別変更が認めになったが、生殖器の切除、摘出など厳しい条件が付いている。国内に1万人と推計されている。

- <性同一性障害>ホルモン療法15歳から 開始年齢引き下げ
- <性同一性障害>性別変更、人工授精で男児「父と認めて」申し立て
- <特集>境界を生きる 性同一性障害に関するニュースはこちらで
- <追跡・暴露>利用される弱者 知的障害者、覚醒剤運び屋に「素直」付け込まれる
- <薬物非行>少年院で離脱指導強化 専門家が助言、親も対象

あなたの
3,000円で
100人を
こえる
命を救える

Click!

トピックス

【詳報】福島県通りで震度5弱
福島2市村で警戒区域を解除
ステ・さん当選で国選参
加へ
米朝がドイツで非公式接触
パナ機帯生産を海外移管へ
ミスユニバースに抜身出身24歳
遠田真央、メダルを奪取
女子バレー、世界大会で

40代、ミス宇宙男...
仕事のスピードが激しい！東大卒の斎藤隆也も飲む成分とは？サントリー
新生活のストレス
就職したばかりの先輩が教えてくれた、入社1年目でもできるスキルとは？
BSかも？医師に相談して下さい

破産措置命令「万一」に備えて万全
元結婚相談所社員 検察全体に反省
迫った

美容ブランド
美容師の悩み、解決する
OKIなら5年間無償保証！さらにメンテナンス品も9年間無償提供！

TVで話題！
籍根 京都
伊豆 房総勝浦
夫婦で温泉に行こう
1泊2食付 109円
1820部限定の早い者勝ち